

来賓あいさつ

食料安全保障と 農山漁村の力を未来へ



衆議院議長

ぬかが
額賀ふくしろ
福志郎

本日、全国町村長大会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

私は現在、茨城県行方市の出身となっていますが、生まれた当時は、茨城県行方郡小高村でしたので、「町村」にはとりわけ深い思いを持っています。私の故郷を含む町村の中には、度重なる合併により名称が変わってしまった自治体も多いと思いますが、皆様方におかれましては、常に先頭に立って、住民の立場に立って地域の発展のために尽力されており、心から敬意を表し、感謝の気持ちを持っております。

多くの町村は農山漁村地域に位置しており、国土の保全や自然環境の保護、地域文化の継承など多面的な機能を發揮しています。とりわけ、農水産物の食料や、太陽光・風力発電など再生可能エネルギーの安定的な供給地として重要な役割を担っています。

昨今の国際情勢の不安定化や気候変動の激化などのリスクを考えますと、我が国において、食料の自給率向上は最重要の課題であります。まずは地域の生産基盤をしっかりと守りつつ、若い世代が夢と誇りを持って農林水産業に携わる再生産基盤ができる

環境を作っていくことが重要です。生産者自らが加工や流通・販売にも主体的に関わり、新たな付加価値を生み出しながら国内外へ展開する取組を一層推進することで、農林水産業をこれまで以上に魅力ある成長産業にしていかなければなりません。農山漁村の持つ潜在力を十分に引き出すこのような施策を強力に実行していくことにより、食料の自給率向上が図られれば、国力は必ずや安定していくものと確信しております。

また、再生可能エネルギーについても、今後の脱炭素社会の構築に向けて、国は、供給現場の担い手である町村長の皆様方の取組を全面的に支援していくことが不可欠であります。

町村の活力は、すなわち日本の活力であります。衆議院といたしましては、今後も皆様の声に真摯に耳を傾けながら、地域活性化の推進を後押しすべく、関係委員会等において熟議を重ねてまいります。

結びに、本大会の御成功と御列席の皆様の方のますますの御活躍と御健勝をお祈りして、御挨拶いたします。

